

令和元年6月7日  
姫路海上保安部

## 令和元年度姫路港テロ対策合同訓練の実施について

～姫路港開港60周年記念 旅客船を舞台に各機関との連携強化～

姫路海上保安部では姫路港管理事務所・飾磨警察署等、16機関約120人が参加して、小豆島フェリー株式会社「第八おりいぶ丸」（総トン数998トン・長さ65メートル）の船上で合同訓練を行いました。

冒頭、姫路海上保安部長・姫路港港湾危機管理担当官から「我々関係機関は、常に想定事案に対処しうる危機管理意識を共有しなければならず、関係機関相互の協力・連携なくしてテロ対策の実現は叶わない。本日の訓練が更なる連携強化の礎となることを期待する。」と力強いご挨拶から始まりました。

姫路港に入港した外国旅客船の入港審査において国際手配中のテロリストが発見されたとの想定で、逃走しターミナル内に潜伏したテロリストの捜索・制圧・逮捕、テロリストが放棄した爆発物の処理、旅客船内に潜伏していたテロリストの制圧・逮捕など実践に即した訓練を実施しました。

今回の訓練は、姫路港開港60周年記念として、約50人の地元住民の方々も観覧し、翌日の地元新聞紙には写真入りで大きく掲載されたことから、テロの抑止への効果が期待されます。

### < 訓練前整列 >



< 船内に潜んでいたテロリスト >



< 警察官・海上保安官によるテロリスト制圧 >



< 爆発物の処理 >

